

平成 31 年度学校経営計画

平成 29 年度～平成 31 年度

校番	20	学校名	広島県立加計高等学校	校長氏名	小 田 均	全・定・通	国・分
----	----	-----	------------	------	-------	-------	-----

1 ミッション（地域社会における自校の使命）

校訓「誠実・自主・気魄」の精神に則り、
 (1) 世界のグローバル化に対応し、多様性を慮ることのできる生徒を育成する。
 (2) 起業しようとする精神を醸成し、地域社会からかわいがられ、地域を支える人材を育成する。

2 ビジョン（使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像）

(1) 目指す生徒像
 「ルールを守り」・「マナーを守り」・「日本の心を守る」そして「かわいがられ、地域貢献する人材育成」
 (2) 目指す学校像
 「魅力を作り」・「魅力を発信し」・「生徒募集を行い」・「楽しい学校の実現」
 (3) 魅力作り推進 4 項目
 ●学力向上部門
 ① **アクティブラーニング**
 (全領域での課題発見・課題解決型学習と地元小中学校で実施しているジグソー法協同学習の継続)
 ② **応募活動**
 (井の中の蛙にならないように積極的に応募に挑戦し、全国レベルを知る)
 ●人格形成部門
 ③ **地域ボランティア**
 (年間約30のボランティアに主体的に参加し、大人の企画力の見極めとコミュニケーションの醸成を目的に参加する)
 ④ **国際交流**
 (グローバル=多様性を醸成するため、多い時には約100人の外国人の来校、世界募集で海外の生徒の入学、約100人の在校生で6人留学(H30年度)させる態勢により、多くの異文化体験・異文化交流を実施する)

3 環境分析

(1) 県及び地域の連携・支援体制

- ・安芸太田町教育委員会
- ・安芸太田町キャリア教育推進協議会
- ・青少年育成安芸太田町民会議
- ・全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会実行委員会
- ・加計高校を育てる会
- ・加計高等学校活性化地域協議会
- ・広島県立加計高等学校同窓会
- ・高等学校間の連携推進校
- ・連携型中高一貫教育校
- ・地域商社あきおた
- ・みらい株式会社
- ・青年海外協力協会（J O C A）

(2) 入学者の状況

① 地元（安芸太田町）生徒の割合

	H27	H28	H29	H30	H31
地元（安芸太田町）中学校の生徒数（A）	47	56	35	40	44
地元中学生が本校へ入学した生徒数（B）	25	30	16	22	30
本校へ入学した生徒数（C）	37	40	31	35	40
地元の生徒が本校へ進学した割合（B/A×100）（%）	53.2%	53.6%	45.7%	55.0%	68.1%
入学生のなかで地元の生徒が占める割合（B/C×100）（%）	67.6%	75.0%	51.6%	62.9%	75.0%

② 出身地域別（全国募集）

	H27	H28	H29	H30	H31
地元（安芸太田町）	25	30	16	22	30
準地元（芸北地域・広島市 安佐南区・安佐北区）	12	5	10	10	5
広島県内	0	2	5	2	1
広島県外	0	3	0	1	4
入学生のなかで県外生徒が占める割合（%）	0%	7.5%	0%	2.9%	10%

(3) 休転退学の状況

	H26	H27	H28	H29	H30
在籍生徒数（年度当初）	91	92	101	103	103
休学者数	0	0	0	0	1
転学者数	0	0	2	1	4
退学者数	0	2	1	2	2
転・編入学者数	0	0	0	0	1

(4) 進路状況（進学・就職等の生徒数）

		H26	H27	H28	H29	H30
進 学	国公立大学	4	3	2	6 (17%) / 7 (85.7%)	8 (21%) / 11 (72.7%)
	私立大学	7	3	5	5 (14%) / 5 (100%)	9 (24%) / 9 (100%)
	短大	0	2	2	0 (0%)	0 (0%) / 0 (0%)
	専門学校	13	7	12	13 (37%)	10 (26%) / 10 (100%)
就 職	公務員	1	1	1	1 (3%) / 3 (33.3%)	0 (0%) / 0 (0%)
	民間	7	13	3	7 (20%) / 7 (100%)	9 (24%) / 9 (100%)
その他		1	0	1	3 (8%)	2 (5%)
卒業生徒数（合計）		33	29	26	35 / (希望者に対する割合 (%))	38 / (希望者に対する割合 (%))

(5) 戦略・重点施策

- ① ICT等学習環境を整え、自ら学ぶ意欲と学習習慣を身に付けさせる。
- ② 地域との協働により、地域人材の育成に貢献する。
- ③ 積極的に情報発信、全国募集・世界募集を行い、入学定員を確保する。

4 目標の設定

学校経営目標							
達成目標	評価指標	実績値			目標値	担当部等	
		28年度	29年度	30年度	31年度		
1 生徒一人一人に生きる力を育む学校							
①確かな学力を育成し、進路目標を実現できるよう支援する。							
■進路目標を明確にさせるとともに、基礎・基本を定着させ、進路目標を実現する。	進路実現率 (%) (※10月進路検討会議段階での志望を基準とする)	-	77.1% (27名/35名) ※年度末の未決定者2名	81.6% (31名/38名) ※年度末の未決定者0名	83%以上	進路指導部	
■学習環境を整え、自ら学ぶ意欲と学習習慣を身に付けさせる。	授業以外の学習時間 (時間)	6	6	10	10以上	教務部 各教科 各担任	
②心と体を鍛え「誠実・自主・気魄」を涵養する。							
■部活動や生徒会活動等における主体的な活動を通して、集団の中で責任ある自主的な行動をとる態度を育成する。	地域の行事に自ら参加している生徒の割合 (%)	-	-	76.3%	80%以上	生徒指導部	
2 保護者・地域から信頼される学校							
①教職員の指導力や職務遂行能力の向上を図る。							
■「授業づくり」等を進め、指導力の向上を図る。	授業評価アンケートの平均値	3.6	3.7	3.7	3.7以上	教務部	
②教職員の不祥事防止、業務改善を図る。							
■教職員の不祥事防止意識を高揚し、不祥事ゼロを継続するとともに、業務改善を図り職員の時間外勤務を減少させる。	超過勤務時間45時間/月以下の職員の割合 (%)	-	-	職員の割合48%	職員の割合55%以上	全職員	
3 地域とともに歩む学校							
①地域と連携し、開かれた学校づくりを推進する。							
■地域協働を推進し、地域の人材育成に貢献する。	「地元に貢献したい」と考える生徒の割合 (%)	-	-	66.3%	70%以上	教務部	
②積極的な生徒募集を行う。							
■積極的に広報活動を行い、学校の魅力を発信し、地域内外の生徒・保護者にとって「行きたい学校」「行かせたい学校」となる。	入学定員充足率 (%)	78%	87.5%	100%	100%	教務部 管理職	

5 行動計画

学校経営目標				
	達成目標	本年度行動計画	中期行動計画	担当部等
1 生徒一人一人に生きる力を育む学校				
① 確かな学力を育成し、進路目標を実現できるように支援する。				
	<p>■進路目標を明確にさせるとともに、基礎・基本を定着させ、進路目標を実現する。</p>	<p>ア 「総合的な探究の時間」「ミライ探究プロジェクト」等を活用して、生徒の興味関心・資質能力に応じて高い目標を持たせ、自ら進路を切り拓く力を育てる。</p> <p>イ 個別面談・個別指導を充実させ、生徒の資質能力、進路志望に応じた学力、思考力・判断力を育てる。</p>	<p>生徒の情報を共有して、全職員で多面的に個別指導を徹底する。全体指導においては、専門家の力を借りるなどして、最新の情報を共有していく。また、小規模校の利点を生かし、個に応じたきめ細やかな授業と徹底した個別指導を通して基礎・基本の習得と学力向上を図り、進路目標を実現させる。</p>	進路指導部
	<p>■学習環境を整え、自ら学ぶ意欲と学習習慣を身に付けさせる。</p>	<p>ア ICT等の教室環境を整備する。</p> <p>イ 家庭学習時間調査を年5回実施し、課題のある生徒には個別指導を行う。</p>	<p>授業内容の定着や進路目標実現のための実践的学習を促す指導体制を構築し、学校に引き付けて学習の動機付けを図りながら、自ら学ぶ意欲と学習習慣を身に付けさせる。</p>	進路指導部 教務部 各教科 各担任
② 心と体を鍛え「誠実・自主・気魄」を涵養する。				
	<p>■部活動や生徒会活動等における主体的な活動を通して、集団の中で責任ある自主的な行動をとる態度を育成する。</p>	<p>ア 各部活動や生徒会活動において生徒の役割分担を明確にし、自主的な組織運営を図る。</p> <p>イ 主な生徒会行事毎に事後アンケートを実施し、次年度の改善点を整理する。</p>	<p>部活動や生徒会活動等を通して、自分の役割を責任持って果たし、他者と協力し合うなど、仲間づくりの方法等を学び、自己肯定感を高めるとともに自主的な態度を育む。</p>	生徒指導
2 保護者・地域から信頼される学校				
① 教職員の指導力や職務遂行能力の向上を図る。				
	<p>■「授業づくり」等を進め、指導力の向上を図る。</p>	<p>ア 各学期に、シラバスに基づいた説明を行う。</p> <p>イ 外部講師を招聘しての授業づくり研修及び公開授業等を年複数回実施する。</p>	<p>シラバスの見直しと更なる活用を図り、生徒・教師一体となった授業づくりを推進する。また、指導力向上のための研修を計画的に企画するとともに、参加体制を確立する。</p>	教務
② 教職員の不祥事防止、業務改善を図る。				
	<p>■教職員の不祥事防止意識を高揚し、不祥事ゼロを継続するとともに、業務改善を図り職員の時間外勤務を減少させる。</p>	<p>情報共有と職員相互のコミュニケーションにより、職員集団での協力体制を構築し、業務の効率化・改善を図る。</p>	<p>不祥事防止委員会を中心にして実効ある研修を実施する。</p> <p>また、職員相互のコミュニケーションを密にして、相談・指摘しあえる組織を確立するとともに業務の効率化等により働きやすい職場とする。</p>	全教職員
3 地域とともに歩む学校				
① 地域と連携し、開かれた学校づくりを推進する。				
	<p>■地域協働を推進し、地域の人材育成に貢献する。</p>	<p>ア 探究活動の時間等で、地域の外部講師を招聘しての授業や体験活動等で、地域との連携を深める。</p> <p>イ 地域行事への参加や環境美化等のボランティア活動を推進する。</p>	<p>地域の現状や課題等を様々な体験活動を通して発見し、地域へ貢献しようとする態度や技能を育成するとともに、起業家精神を養う。</p> <p>生徒による自主的な生徒会活動を通して、自己肯定感を育むとともに地域に貢献する人材を育成する。</p>	教務 生徒指導
② 積極的な生徒募集を行う。				
	<p>■積極的に広報活動を行い、学校の魅力を発信し、地域内外の生徒・保護者にとって「行きたい学校」「行かせたい学校」となる。</p>	<p>ア 学校の魅力づくりに生徒自らが主体的に加わる。</p> <p>イ 広報誌「五輪の峰」を学期毎に作成し発行する。</p> <p>ウ ホームページを常に更新し、新しい情報を発信する。</p> <p>エ マスコミに積極的に情報提供し、取材を働きかける。</p>	<p>広報誌及び学校ホームページを活用した広報活動やマスコミに取り上げられることを通して、加計高校の魅力を地域に発信し、学校に対する信頼感を醸成する。</p>	教務 管理職